

# NPO 市民団体と学生との交流会 第3弾

## 東日本大震災から6年

— センターから見た復興支援の振り返り —

### 復興ボランティア支援センターやまがた



(山形市松山三丁目 / <http://kizuna.yamagata1.jp/>)

ゆうきけんじ

結城健司さんをお招きします



さくらんぼ美味しかったよ



**7月3日 (月) 5コマ目 (16時20分～)**

**(山形大学 人社棟1階) 102教室 にて (参加無料)**

今年2017年、6年目の「3.11」を迎えました【↑写真は3月11日の「キャンドルナイト」】。東日本大震災で山形県は救援物資や支援者の中継地点として、また特に福島県からの避難者の受け入れでも大きな役割を果たしてきました。「復興」も原発震災の「収束」もまだまだ途上である一方で、各地では熊本地震のように自然災害が頻発しており、復興支援は私たちの日常となっています。これからは誰もが、時には被災者として、あるいは支援者として災害に対処していくことになるでしょう。

今回は、緊急支援、復興支援の活動を市民の立場からサポートする活動をされてきた「復興ボランティア支援センターやまがた」の活動をうかがいます【↑写真は県内への避難者向けにセンターが月一回発行している『うえるかむ』】。

関心のある方、無い方、学部・学年、大学を問わず、是非おいでください。

なお本交流会は人文社会科学部の講義「地域づくり特別演習(二)」の一環としておこなうものですが、未履修の方、他学部の学生、教員の方も大歓迎です。

担当教員：松本邦彦 (人文社会科学部 地域公共政策コース / 電話 023-628-4250)